

県総体開催にあたっての安全対策ガイドライン

- ① 原則として、香川県高体連の「高体連主催大会開催にあたっての安全対策ガイドライン 令和4年4月版」に基づいて競技を行う。
- ② 参加者は、競技会場においてこまめな手洗いや咳エチケット（マスク着用の推奨）、更衣室前・WC前などにある消毒をおこなうなどの基本的な感染症対策を徹底する。
- ③ 参加者は大会等の2週間前から体温・体調チェックシート(様式1)を記録し、その表は学校ごとに保管する。参加校の顧問または引率教員は一覧表(様式2)を受付に提出する。
- ④ 入館から退館時まで密集場所を避けるため、人との距離をできるだけ1～2m程度あけて行動する。人が集まる観覧席、控え所等でも同様に距離をあける。
- ⑤ 密閉空間を避けるため、選手の控え場所は屋外とする。その際に空調や衣服による温度調節を含めて、選手自身においても温度・湿度管理、また熱中症予防に努める。
- ⑥ 選手は、レース直前までマスクを着用する。また使用したマスクは選手イスや更衣室のイス等に直接置かないようにする。
- ⑦ 更衣室等の利用は更衣のみとし短時間の利用、更衣室・会場への出入りに時間差を設けるなどの対策を講じる。また上履きの使用や土足可能な場所での靴の履き替えを必ず守る。
- ⑧ 密接場面を避けるため、握手やハイタッチ、肩を組むなどの身体接触を避ける。また近距離での大きな声での会話や応援はしない。応援は拍手のみで行う。
- ⑨ 競技中の水分補給に関してはチーム共用を避け、必ず個人のものを使用する。
- ⑩ 飲食は、指定場所でのみ行う。また、黙食を励行し、対面での食事は厳に慎む。
- ⑪ 引率者は、レース当日・レース前に選手の健康状況（検温状況含む）を確認し、体調不良の選手がいた場合には、香川県高体連共通感染防止対策ガイドライン「2（2）当日、生徒に発熱等の風邪の症状がみられる場合の対応」に従って対応する。
- ⑫ 各学校それぞれの共有物の適正な管理又は消毒を徹底する。
- ⑬ 原則として、本大会は入場制限を行う。会場内への出入りは許可を得た家族、レースに出場する選手及びマネージャー、顧問、引率者、各学校長が認めた指導員、役員、審判のみとし、競技終了後生徒はすみやかに退出し帰宅させる。
- ⑭ 参加者が使用した物（マスク・ティッシュ等）や飲み切れなかった飲物や飲食後のゴミは、必ず使用した本人が持ち帰る。
- ⑮ 大会後1週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、競技会担当者に対して、濃厚接触者の有無について速やかに報告する。